

2021年9月3日 関東甲信越地域小児がん医療体制協議会

# 拠点病院からの報告



血液・腫瘍科 **康 勝好**



血液・腫瘍科 **湯坐有希**



血液・腫瘍科 **柳町昌克**



小児がんセンター **松本公一**

## 毎月1回4拠点病院のTV会議を行っています




## 令和2年度 小児がん看護専門研修

急性リンパ性白血病の治療について学ぼう  
～プロトコルを理解した看護支援～

●日時:令和3年1月12日(火) 17:45~19:20

●会場: ZOOMを使用した Web 講義

### 【講義内容】

時間	テーマ	内容	講師
17:45~	オリエンテーション		
17:50~	ALL のプロトコルを学ぼう	・ALLのプロトコルについて ・ALLの治療に必要な支援法について	三谷友一医師 (血液腫瘍科)
18:40~	プロトコルを理解して、必要な看護支援を考えよう	・ALLのプロトコルに沿った看護支援のポイントについて	平澤明子 (がん化学療法看護認定看護師)
19:10~	質問への回答	・事前に テーマに沿った内容に関し質問を受け付ける ・事前の質問に対する回答を行う。	

### 【申し込み方法】

●研修受講希望の方は、メールの本文に「施設名」「参加者名・職種」「連絡先の電話番号」「研修テーマに関する質問」を入力してください。メールの件名は、「小児がん看護専門研修受講希望」で送信してください。

●申し込みされた方に ZOOM 接続用 ID、パスワード及び、研修資料のダウンロード方法をメールでお伝えします。

☆申し込みメールアドレス☆

看護事務室メールアドレス [kango.jimushitu@scmc.pref.saitama.jp](mailto:kango.jimushitu@scmc.pref.saitama.jp)

### 【申込期限】

●令和3年1月4日16:00まで

問い合わせ先: 埼玉県立小児医療センター TEL: 048-601-2200

研修担当: 看護部 福地・小久保・沖田

こちらの QR コードから、  
当院のホームページへアクセスできます



令和3年1月に研修を行いました。

### 研修テーマ

「ALLのプロトコルを学ぼう」  
(講師:血液腫瘍科医師)

「プロトコルを理解して  
必要な看護支援を考えよう」  
(講師:化学療法看護認定看護師)

参加者総数: 75名

院内:会場:22名 WEB:13名

院外:WEB:40名

### 研修アンケートより

#### 【WEB研修について】

夜勤後の時間も有効に利用できた。  
遠方でも休みを取らずに参加できた。

#### 【内容について】

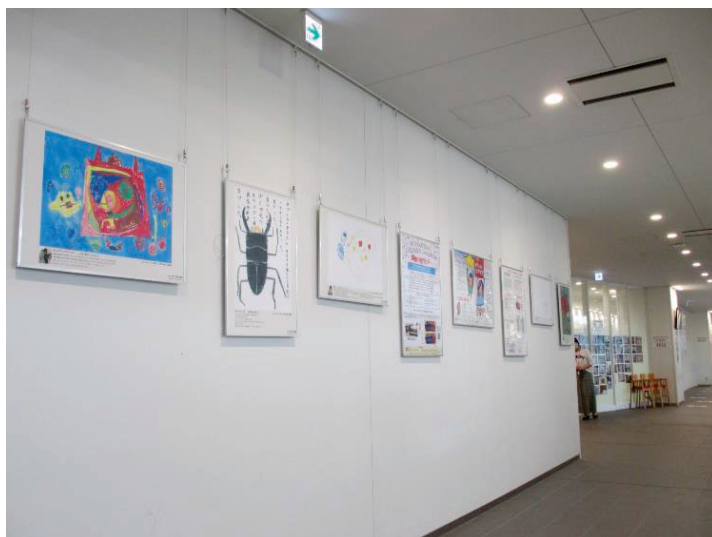
基本的な内容から実践的な内容で、初学者にも理解しやすい内容であった。  
ビーリンサイトを取り上げ、経験者にとっても知識のアップデートができた。



マスコット@埼玉県立小児医療センター

## 国際小児がんデー 小児がんの子どもたちの絵画展

- 共 催: がんの子どもを守る会
- 開催日程: 令和3年2月15日~26日
- 場 所: 埼玉県立小児医療センター 正面玄関



例年はけやき特別支援学校の協力も得て、当センター患者さんやきょうだいの作品も掲示しています。今年新型コロナウイルス感染拡大防止のため規模を縮小して開催しました。



# 骨髄移植などにより免疫消失した方の 予防接種再接種費用助成について（埼玉県）

＜制度概要＞（以下参考さいたま市資料。制度詳細は各自治体にて異なる）

対象：骨髄移植等により、移植前に接種した定期予防接種の予防効果が低下または消失したため、任意予防接種による再接種が必要であると医師が認めた方

年齢：再接種を受ける日において20歳未満の方

※予防接種の種類によって年齢上限あり

（BCGは4歳・小児用肺炎球菌は6歳・ヒブは10歳・四種混合は15歳未満等）

助成開始時期	自治体
平成27年	入間市
平成30年	草加市
平成31年	所沢市・春日部市・羽生市
令和2年	吉川市・鶴ヶ島市・三芳町・志木市
令和3年	さいたま市・狭山市・富士見市・伊奈町

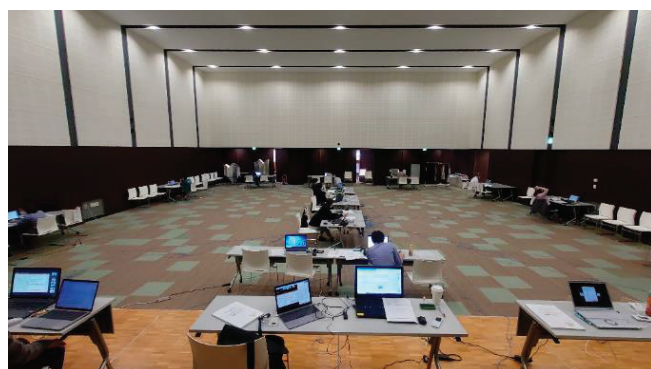
※越谷市：制度は未整備だが適宜個別相談で対応

## LCAS@都立小児総合医療センター

Lifetime Care and Support for Child,  
Adolescent and Young Adult Cancer Survivors (LCAS)

小児・AYA世代のがんの  
長期フォローアップに関する研修会

- ・日時：2021年1月24日 9:00-16:00
- ・開催形式：Web（Zoom）
- ・参加者数
  - ・受講生：42名（6グループ）
  - ・ファシリテーター等スタッフ：33名
    - ・スタッフの大部分は100名以上収容可能な会議室に集合
- ・Web運営一部を木村情報技術に委託
- ・一部、受講生のマイク不具合などあったが、問題なく予定のプログラムをほぼ時間通りに実施



# 2020年度小児がん看護研修 @都立小児

	開催日	時間	テーマ	内容	目標	場所	講師
第1回	令和2年 7月16日 (木)	夕方 1時間	小児がんの基礎知識①	・小児がんの疫学 ・小児がんの代表的な疾患と治療 血液がん、固形がん	・小児がんの疫学、発生機序、および小児がん に特有の病態と治療の最新知識を理解し、疾患 のアセスメントができる	院内 会議室	血液・腫瘍科医師
第2回	令和2年 9月24日 (木)	夕方 1時間	がん治療に対する看護①	・がん薬物療法を受ける子どもへの看護 ・小児がん患者の口腔ケア	・がん薬物療法の看護が分かる ・小児がん患者の口腔ケアの重要性を理解し、 ケア方法が分かる	院内 会議室	がん薬物療法認定看護師 歯科医師
第3回	令和2年 10月22日 (木)	夕方 1時間	小児がんの基礎知識② 小児がんのチーム医療①	・血液データの見方 ・入院治療中の小児がん患者への心理的ケア	・血液データから患者の状態を理解することが 出来る ・患者の心理的状況を理解し、支援することが 出来る	院内 会議室 + Web	血液・腫瘍科医師 血液・腫瘍科病棟看護師
第4回	令和2年 11月26日 (木)	夕方 1時間	家族看護	・小児がん患者の親への支援 ・小児がん患者のきょうだいへの支援	・家族看護について知ることが出来る。 ・小児がん患者の親の置かれている状況から看 護師の役割と実際を理解する ・小児がん患者のきょうだいの心理を知ることが 出来る	院内 会議室 + Web	血液・腫瘍科病棟看護師 心理士
第5回	令和2年 12月24日 (木)	夕方 1時間	AYA世代の基礎知識	・AYAがん総論 ・AYAがん経験者の立場から	・AYA世代の特徴を知ることが出来る ・AYA世代の患者のニーズを知り、必要な支援 が分かる	院内 会議室 + Web	血液腫瘍科医師
第6回	令和3年 2月25日 (木)	夕方 1時間	終末期ケア	・小児がん患者の終末期ケア	・看取り期にある患者の看護が分かる	院内 会議室 + Web	緩和ケア認定看護師
第7回	令和3年 3月25日	夕方 1時間	小児がんのチーム医療②	・ファシリテイドッグが子どもに及ぼす影響 ・保育の取り組み ・病気の子ども達にとっての学校	・ファシリテイドッグが子どもに及ぼす影響を 知り、チームの一員としての活動を理解する ・保育士による支援の実際を知ることが出来る ・院内学級の役割を知ることが出来る	院内 会議室 + Web	ファシリテイドッグ・ ハンドラー 保育士 分教室教員

# 2021年度小児がん看護研修 @都立小児

<p>6月12日(土) 13:00～16:00 対象：院内外の小児がん看護初学者 場所：院内会議室+Web</p>
<p>目標： ①小児がんの疫学、病態を理解できる ②がん薬物療法の看護と、治療によって生じる疼痛看護の知識を得ることができる</p>
<p>小児がんの基礎知識 40分 講師：血液・腫瘍科医長 横川裕一 ・小児がんの疫学 ・小児がんの代表的な疾患と治療</p>
<p>がん薬物療法を受ける子どもへの看護 30分 講師：がん薬物療法看護認定看護師 上野翠 ・抗がん薬の基礎知識 ・がん薬物療法によって生じる有害事象のマネジメント</p>
<p>治療によって生じる疼痛マネジメント 30分 講師：がん性疼痛看護認定看護師 土屋周平 ・疼痛の基礎知識 ・疼痛看護</p>
<p>小児がんのチーム医療 60分 ・小児がん患者と親への支援 講師：心理士 谷合知子 ・病気の子どもたちにとっての学校 講師：わかば学校コーディネーター 趙里愛 ・ファシリテイドッグが子どもに及ぼす影響 講師：ファシリテイドッグハンドラー 大橋真友子</p>

<p>2021年10～12月 対象：院内外の全ての看護師 場所：院内会議室+Web</p>
<p>目標： ①小児がん治療を受ける患者の妊孕性に関する知識を得ることができる ②小児がん患者の妊孕性に関わる看護師の役割について考えることができる</p>
<p>小児がん患者における妊孕性温存の基礎知識 60分 講師：外部講師予定</p>
<p>小児がん患者の内分泌フォローアップについて 60分 講師：内分泌代謝科医師 ・外来での関わり ・発達段階に応じた子どもへの説明の実際</p>
<p>小児がん患者の妊孕性に関わる看護師の役割について 40分 グループワーク ・テーマ：入院初期や外来フォロー中の関わり</p>
<p>内容 自己紹介 ディスカッション (30分程度) グループ検討内容の発表 (10分)</p>



# AYAキャンサーサバイバーズ ミーティング @都立小児

第3回 AYA キャンサーサバイバーズミーティング  
AYA 世代がん経験者が考えた  
AYA 世代がん患者のための  
オンライン交流イベント

AYA 世代がん体験者が交流できるイベントを開催します。このイベントを通して、専門家からの情報を得ると同時に、同年代の経験者となつながら、今後のサバイバー生活の活力になることを願っています。  
たくさんの方のご参加をお待ちしています。

カメラオンで参加をお願いします。マイクは発言する時のみオンOK!

2020.12.6日  
13:00~15:30 (2時間 30分)

場所: Zoom  
対象: AYA 世代がん経験者  
※0歳~39歳でがんを経験したご本人  
※現在高校生~39歳までの方

参加費用: 無料 (事前登録制)  
申込期限: 2020年11/24(火)まで延長  
定員: 先着40名

お申込み方法  
QRコードもしくはURLより、登録フォームにアクセスしてください。  
iPhone: カメラアプリで読み取る  
Android: Googleレンズで読み取る  
URL: [www.shinsei.elg-front.jp/tokyo2/uketsuke/form.do?tid=1601424977245](http://www.shinsei.elg-front.jp/tokyo2/uketsuke/form.do?tid=1601424977245)

主催: 東京都立小児総合医療センター 共催: 東京都立多摩総合医療センター  
企画: AYA cancer network project (※) 後援: (一社)AYA がんの医療と支援のあり方研究会  
※若年時にがんを経験したサバイバーで構成されたチームで、日本全国の繋がりを目指して活動しています。  
【お問い合わせ】東京都立小児総合医療センター 庶務課企画担当 TEL:042-300-5111 (代表)

第4回 AYA キャンサーサバイバーズミーティング  
AYA 世代がん患者のための  
オンライン交流イベント

AYA 世代がん体験者が交流できるイベントを開催!  
このイベントを通して、専門家からの情報を得ると同時に、同年代の経験者となつながら、今後のサバイバー生活の活気になることを願っています。  
皆さんのたくさんのご参加をお待ちしています。

カメラオンで参加をお願いします。マイクは発言する時のみオンOK!

2021.3.14日  
13:00~15:30 (2時間 30分)

場所: Zoom  
対象: AYA 世代がん経験者  
※0歳~39歳でがんを経験したご本人  
※現在高校生~39歳までの方

参加費用: 無料 [要 Web 登録]  
申込期限: 2021年3/5(金)  
定員: 先着40名

お申込み方法  
QRコードもしくはURLより、登録フォームにアクセスしてください。  
iPhone: カメラアプリで読み取る  
Android: Googleレンズで読み取る  
URL: [www.shinsei.elg-front.jp/tokyo2/uketsuke/form.do?tid=1609997724460](http://www.shinsei.elg-front.jp/tokyo2/uketsuke/form.do?tid=1609997724460)

Contents&Time Schedule  
はじめの挨拶と会の主旨説明 (10分)  
第1部 選べるグループレクチャー (30分×2)  
「不安との上手な付き合い方」 講師: 中山 真由美 先生 (がん山がんとがんセンターの医師 精神科医)  
「個別のプログラムに関する自己分析」 講師: 杉山 光希 先生 (キャリアコンサルタント)  
「がんになつたら嬉しいよ!」 体力と元気を回復する方法」 講師: 山崎 真由美 先生 (一般社団法人 キャンサーケア・ネット)  
「患者会紹介」 若年性がん患者団体 STAND UP!! | 若年性乳がんリポートコミュニティ Pink Ring | 一般社団法人 キャンサーケア・ネット  
休憩  
第2部 みんなでティータイムトーク (30分×2 計60分)  
終わりの挨拶 (10分)

主催: 東京都立小児総合医療センター 共催: 東京都立多摩総合医療センター  
企画・事務局: AYA cancer network project (※) 後援: (一社)AYA がんの医療と支援のあり方研究会  
※若年時にがんを経験したサバイバーで構成されたチームで、日本全国の繋がりを目指して活動しています。  
【お問い合わせ】東京都立小児総合医療センター 庶務課企画担当 TEL:042-300-5111 (代表)

## 小児がん拠点病院現状報告 神奈川県立こども医療センター



# 「神奈川県小児がん従事者研修」 since 2020～

中堅  
ベテラン

若手

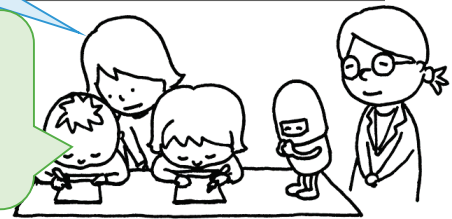
## 多職種の多職種による多職種のためのセミナー

項目	単元	項目	時間	タイトル	
疾患及び治療の理解	2021年度	1 ①	45分	血液がん	
		2 ②	45分	固形がん	
		3 ③	45分	脳腫瘍	
	4	④	30分	化学療法と治験	
		⑤	20分	造血細胞移植	
		5	⑥	30分	外科療法
			⑦	25分	放射線療法

対象理解とチームアプローチ	6 ⑧	45分	小児がん治療に伴う苦痛緩和	
	7	⑨	20分	多職種連携 小児がんのこどもと家族への多職種チームアプローチ
		⑩	20分	
⑪	15分	小児がんのこどもの心理		
8	⑫	25分	家族支援 小児がんのこどもの家族への相談支援	
		⑬		25分
9	⑭	25分	病気や治療に伴う学習支援	
	⑮	25分	AYA世代がん	
	⑯	5分	小児がんの長期フォローアップ	

昨年度は  
ハイブリッド開催  
で  
30～80名

今年度は  
神奈川以外の  
web参加  
もお待ちしております



一般社団法人

日本造血・免疫細胞療法学会

Japanese Society for Transplantation and Cellular Therapy

LTFUリーフレット全国版 神奈川県立こども医療センター改訂版②

### 免疫抑制剤終了後の注意点

免疫抑制剤の内服が終了したら、食事などの制限は緩和されますが、  
免疫力は完全ではありません。  
以下のことに注意しながら、少しずつもとの生活に戻していきましょう。  
また、手洗い・うがいなどの感染予防行動は続けていきましょう。

#### ①感染に注意しながらもとの生活へ

- 生ものは新鮮なものを選びましょう。
- 今まで摂取を控えていた食品は、一度に解除するのではなく、一品ずつ、また摂取する時は少量ずつ様子を見ながら食べるようにしていきましょう。
- 調味料や飲み物など、開栓してから長期間経過したボトルのものは控えましょう。飲むときに開栓して、注ぎ口が汚れていないことを確認するようにしましょう。
- 温泉、プール、スナは主治医の許可を確認してください。
- ペットを飼っている方は、排泄物や嘔吐物などを処理するときに、必ず手袋とマスクを着用してください。処理が終わったら、しっかり手洗いしてください。
- 抗ウイルス剤や抗真菌剤などの予防内服は、体調をみながら減量中止していきまます。
- 抗ウイルス剤（アシクロビル）の中止後は帯状疱疹に注意してください。「⑤ 帯状疱疹について」も参照ください。
- ST合剤（ダイフェン）は、免疫抑制剤終了3か月後を目安に中止します。
- 復学・復園は主治医に相談しながら学校や園との情報共有をしましょう。

#### ②GVHD症状の出現及び再燃に注意

- 皮膚や目、口の中の変化、息苦しさ、食欲不振などに注意しましょう。
- 体調変化がある場合は、担当医に相談しましょう。

#### ③受動喫煙には気をつけましょう。



移植後長期フォローアップ外来運営を支援する“LTFUツール全国版”



最終更新日：2021年6月1日

移植後長期フォローアップ外来運営を支援する

“LTFUツール全国版”のご紹介

神奈川こども版リーフレット  
院内運用開始

造血幹細胞移植推進拠点病院  
国立がん研究センター研究開発費福田院



今後、全国小児版として  
日本造血・免疫細胞療法学会  
(平山先生・加藤格先生)と準備中

2021年度

## 小児・AYA世代のがんの長期フォローアップに関する研修会

LCAS -Lifetime Care and Support for Child, Adolescent and Young Adult Cancer Survivors

### 開催にあたって

小児・AYA世代（思春期・若年成人）のがんの治療成績は向上していますが、治療終了後に出現するさまざまな問題については医療者の間でさえ、まだ十分な理解が得られていません。このたび、小児・AYA世代のがんの長期フォローアップと小児から成人への移行期医療の重要性を、医師・看護師および関係する多職種の方々に認識していただくため、2017年度から継続している厚生労働省の委託事業の一環として研修会を開催いたします。昨年度に引き続き、コロナ禍にてWEB開催となりますが、皆様のご参加をお待ちしております。

**WEB開催**  
(Zoomミーティング)

第1回 2021年 **08月28日** (土) 10:00~16:00(予定)  
主幹：北海道大学病院

第2回 2021年 **10月02日** (土) 10:00~16:00(予定)  
主幹：九州大学病院

第3回 2021年 **12月25日** (土) 10:00~16:00(予定)

主幹：大阪市立総合医療センター

第4回 2022年 **02月06日** (日) 10:00~16:00(予定)  
主幹：神奈川県立こども医療センター



社会福祉法人

恩賜財団 **済生会横浜市南部病院**

田中文字子先生・鈴木徹臣先生

### 小児がんの長期フォローアップ

#### 小児がん合併症の現状

小児がんは現在、治療法の進歩によって多くの方が治癒するようになってきました。しかし、治療に伴う様々な影響（晩期合併症）が出てくる可能性が分かってきました。合併症によっては、何十年も経ってから生じるものもあります。

#### 長期フォローアップ外来

そこで、小児科・新生児内科では、小児がん患者さんだけでなく、大学生や社会人に院を交える必要がある患者さんのフォロー



小児がん連携病院  
カテゴリ-3  
LTFUを行う連携病院  
のロールモデル



現在、成人期のCCS 10名程度の移行完了





がん治療と妊娠  
地域医療連携



Network

Kanagawa

神奈川県



神奈川県がん・生殖医療ネットワーク  
KanaOF-net

生殖医療施設

Reproductive Medicine

View More

日本産科婦人科学会  
医学的適応による凍結・保存に関する登録施設

聖マリアンナ医科大学病院

横浜市立大学附属病院市民総合医療センター

その他の医療施設

なし

神奈川県内の妊孕性温存に関するネットワーク会議

- ・ 聖マリアンナ大学
- ・ 横浜市立大学
- ・ 神奈川県立がんセンター
- ・ 神奈川県立こども医療センター

妊孕性温存に関しては、2018年~2021年現在まで、

- ・ 精子保存@横浜市立大学  
コンサルト数：9例、実施数：4例
- ・ 卵巣組織凍結保存@聖マリアンナ医科大学  
コンサルト数：12例、実施数：4例

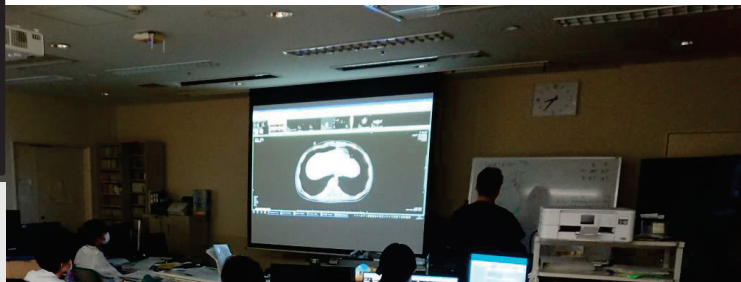
# Tumor Board



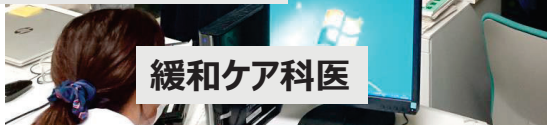
病理医

外科 37  
脳外科 11  
整形 5  
泌尿器 11  
Leukemia Board  
(+移植前処置CF) 17+15

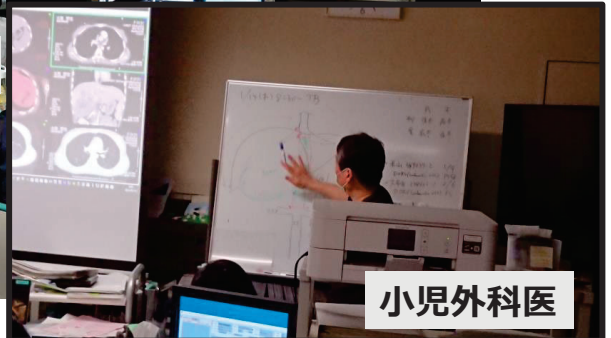
合計  
96件



放射線科医



緩和ケア科医



小児外科医



# Web Tumor Board

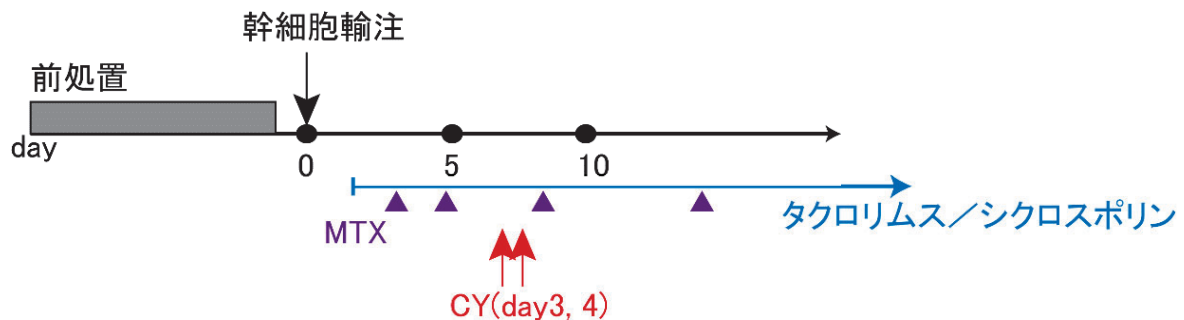


静岡こども 移植転院 2例  
東邦大学 移植転院  
山梨大学 肝芽腫転院  
長野こども 肝芽腫相談  
長崎大学 温熱化学療法転院  
名古屋大学 温熱・転院症例 2例  
横浜市大 固形腫瘍 3例

## 同種造血幹細胞移植における移植後シクロホスファミド単剤によるGVHD予防法の多施設共同第II相試験 (SAP-P2)

(臨床研究法対応済)

- ALL、AML、リンパ腫
- 第一もしくは第二寛解期、初回移植
- GVHD方向のHLA一致BM/PBドナー
  - ・ 血縁に限っては、HLA-抗原不一致まで許容



- 4拠点病院 (成育+埼玉+都立+神奈川) + 東大病院での多施設共同
- プライマリーエンドポイント
  - ・ 移植後100日時点での急性GVHD ( $\geq$  grade II) の有無
- 予定登録数25例、現在18例移植済

# 小児がんゲノム医療の連携

## ・がんゲノムプロファイリング検査の実施

### ・成育

- ・がんゲノム医療拠点病院としてEP実施（累計43例）
- ・関東甲信越ブロックの7施設と連携（全国13施設）

### ・埼玉小児／神奈川こども／都立小児

- ・がんゲノム医療連携病院として、自施設症例の検査を実施

## ・小児がんに対する治験

- ・国がん中央を中心に実施

## ・がんゲノム教育

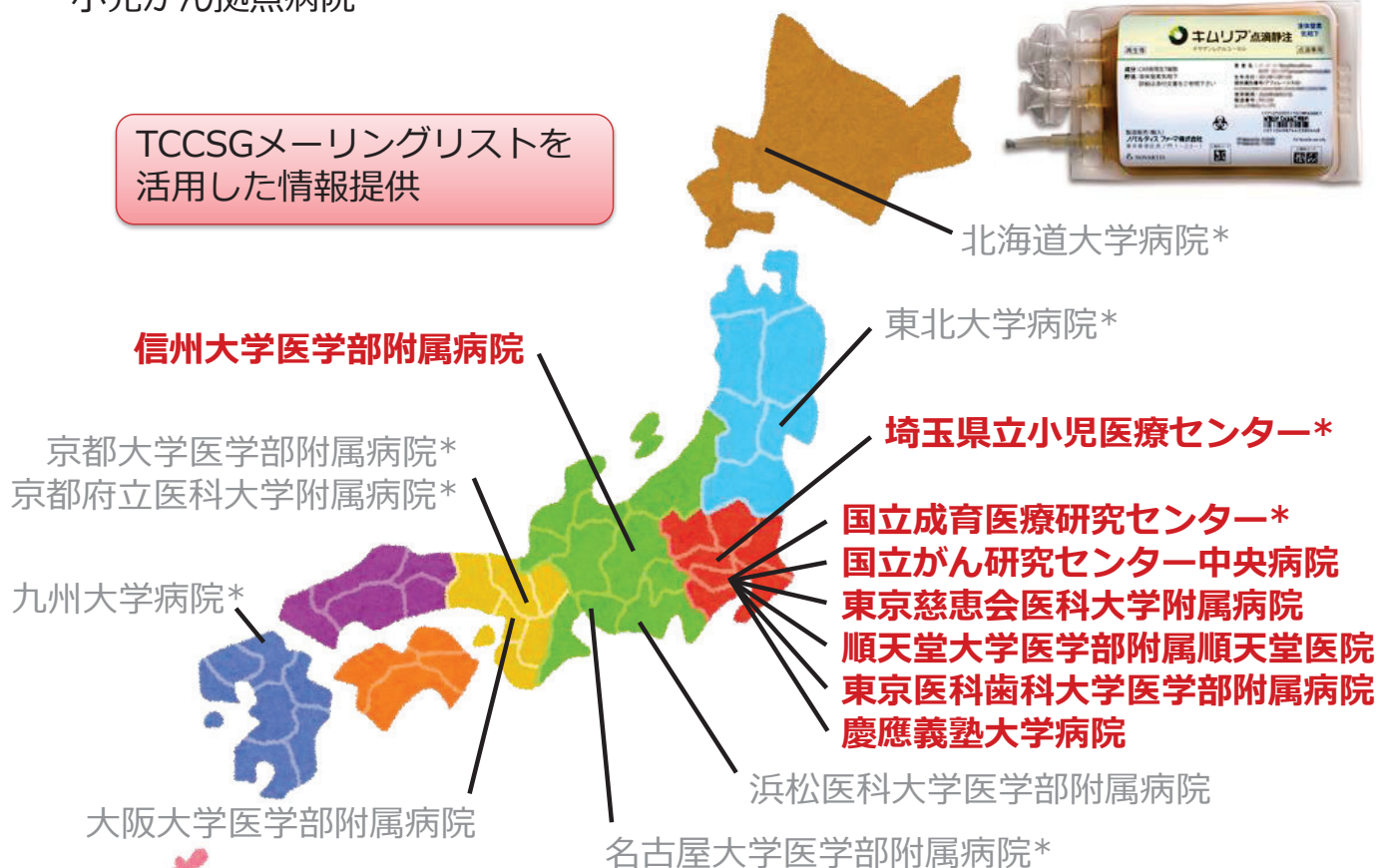
- ・がんゲノム医療研修
  - ・2021年1月18日開催（Web）：328名参加
- ・4拠点から成育EPに参加していただき、人材を育成



## 関東甲信越地域のキムリア®実施可能施設（小児科）

\*小児がん拠点病院

TCCSGメーリングリストを活用した情報提供



2021/5/31現在

# 2021年度 関東甲信越ブロック 計画

項目	2021年度に取り組むこと
診療体制	再発・難治性がんの診療 造血細胞移植／CAR-T細胞療法（患者紹介体制の構築） ゲノム医療（施設間の情報共有と連携） 生殖機能温存の支援体制
人材育成	各種研修の実施（長期フォローアップなど） 多職種の人材交流 Webカンファレンスのシステム構築
相談支援	相談実績の向上 相談支援体制の整備 情報提供／情報収集（教育支援など）
臨床研究	JCCG臨床研究の推進 4拠点病院を中心とした臨床研究推進 治験に関する情報共有体制整備
その他	医療安全体制の整備

- ・ 関東甲信越地域小児がん医療提供体制協議会
- ・ TCCSG秋季セミナー（Web）
- ・ 緩和ケア多職種連携ワークショップ                      なども予定されています。